



お釈迦さまのお誕生をお祝いしましょう。
平成23年 花まつり

主催 新潟佛教会

期日：平成23年4月8日(金)

法要：善導寺 午後1時より

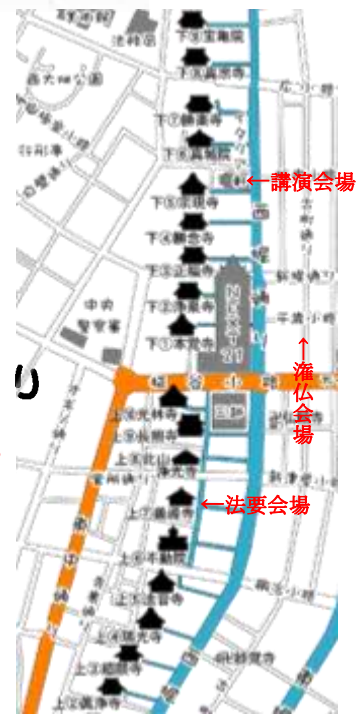
灌仏：旧・大和デパート前 午前10時より

お釈迦さまに甘茶かんぷつをおかけし(灌仏と言います)、お祝いしましょう。

法要後、法要会場から灌仏会場まで稚児行列があります。

記念講演：講師 朝倉 孝英 師
会場 ホテル イタリア軒
時間 午後3時より

入場無料!



地図は「新潟なじらネット」HPより

花まつり法要

平成23年4月8日(金)

花まつり法要

時間:午後1時より
会場:善導寺 新潟市中央区西堀通り4



昨年の法要

稚見行列(おねり)

法要終了後、午後2時頃より、
古町通を旧・大和デパート前まで「おねり」



昨年のおねり

記念講演

時間:午後3時より
会場:ホテル イタリヤ軒
講師:朝倉 孝英 師(金宝寺住職)
演題:「七歩 歩み出すこと」
入場無料!

どなたでもご自由においでください。



昨年の記念講演

古町会場での灌仏

時間:午前10時より
会場:古町通(旧・大和デパート前)



昨年の灌仏

四月八日は、お釈迦さまの誕生日、花まつりです。上記のように、法要・灌仏・おねり・記念講演など多くの行事を予定しております。

お釈迦様はおよそ二五〇〇年前、インドの北部・ヒマラヤの麓で、カピラ城の城主「浄飯王(じょうぼんおう)」とその妃「摩耶夫人(まやぶにん)」との王子としてお生まれになりました。

が入る夢を見て身ごもったという言い伝えから、白い像の上に「釈迦誕生仏」を安置しています。またお釈迦様の誕生にあたって、天から甘露の雨が降り注いだということから、「釈迦誕生仏」に甘茶をおかけいたします。



善導寺本堂

また、第十八世の住職興雲は能筆で著名であり、その弟子に幕末の三筆の一人として知られる書家の巻菱湖など、著名人が多くあります。境内には興雲住職の筆塚が、建立されています。



筆塚 (新潟なじらねっと HP より)

寺院探歩 ⑤

浄土宗 善導寺

新潟市中央区西堀通4番町823

住職 常川 秀雄

今年の花祭り法要の会場寺院を紹介します。

善導寺は浄土宗で、京都知恩院の末寺です。

天文三（一五三四）年に和泉国（大阪府）出身の岌讚によって開かれました。越後に移った当所は新津の善道（秋葉区善道町）にありましたが、後に現在地に移転しています。

境内には、元禄時代に松尾芭蕉が立ち寄ったことを記念する養塚があります。



養塚 (新潟なじらねっと HP より)

そのほか、新潟市の歴史に関わる人物では、江戸時代の画家「五十嵐俊明」の墓と碑、北洋漁業家「田代三吉」の墓などがあります。

屋根の上に露盤宝珠ろばんほうじゆがついた本堂および庫裡は、昭和三十三年の建立です。今年の花祭り法要を機に、是非ご参拝ください。

花祭り記念講演

花祭り行事の終了後、右ページにも紹介したように、記念の講演会を開催します。会場は、新潟市中央区西堀通七番町にあるイタリア軒です。

灌仏会場からも近いところですので、是非引き続きご参加ください。

日時：平成二十三年四月八日（金）

午後三時から四時頃まで

会場：ホテル イタリアア軒

新潟市中央区西堀通七番町一五七四

電話 〇二五（二二四）五一一一

講師：朝倉 孝英 師

真宗大谷派 金宝寺住職

新潟市上所上一丁目十一五

演題：『七歩 歩み出すこと』



昨年しんねんの記念講演

新会長挨拶



新会長

あおき いちお
青木 一男

浄土宗 往生院 住職

新潟市中央区西堀通 11 番町 2874

「全関取の携帯調査」、これはある新聞の見出しで、その概要は、大相撲の八百長問題をめぐり、日本相撲協会の特別調査委員会が横綱以下の全現役関取に対して携帯電話本体と金融機関口座の提出を求め、内容の調査を始めたというものであります。日本の国技とされる相撲の世界で、八百長が行われていたということで大問題となっております。実に悲しい出来事であり、そこには、正しい判断、正しい見方が出来ず、間違つた道へと走ってしまった人間の姿が見えてきます。

残念なことに、人間には欲というものがあります。むさぼりの欲とか、怒り、愚痴などというものは身の破滅をもたらすものでありますので、そういうものをなくすことが大切であります。けれど、そういう煩惱が常に起きてくるのが、私たち凡人の常であり、それを取り去るべく努力し続けることが求められているのです。

電車の中で若い夫婦と幼い子ども、そして祖父母の一家と思しき人たちが座っております。しばらくす

ると幼い子供が、周りの迷惑をよそにはしやぎ、奇声を上げるようになりました。そのうち子どもは、汚れた靴をはいた足を私の服にぶつけ始めました。両親は無視。たまりかねた私は「やめさせてください」と頼みましたが、謝りの言葉一つなく、逆に「子どものやることではないか。」と非難される始末でした。両親、祖父母と多勢に無勢、私はただ黙って身を縮めて被害を避ける結果となりました。

人間の価値の中核となるものは、豊かな心情を持つていけるかどうかではないでしょうか。教育は、知、徳、体の調和のとれた人間の育成を目指して行われるものであります。厳しい受験競争、学歴偏重社会の風潮の中で、知育偏重になりがちであります。戦前の家庭では、子どものしつけはかなり厳しく行われました。礼儀作法、自立心、日常生活の基本的な生活習慣を身につけていました。この心の教育、してはならないこと、守らなければならないことが身につけていないことが、今大きな問題であろうと思っております。現代の子どもたちに与えなければならないのは、物質的豊かさではなく、貧しさであり、暖かい保護ではなくして、厳しい試練ではないでしょうか。

江戸幕府の基礎を作った徳川家康は「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。不自由を常と思えば不足なし。心に望みおこらば困窮したる時を思い出すべし。」と言ひ残しております。家康は幼年時代は、他家に人質として差し出され、苦勞して育ち、將軍として天下を治めるようになってからも、仏教を心の支えとしてその人生を送った人間の一人です。

《編集後記》

今年の新潟県内は、山沿いを中心に記録的な大雪となりました。積雪四メートルといった報道をよく目にします。その結果多くの雪害による犠牲者が出てしまいました。私の家内の叔父も、残念ながらその一人となってしまいました。

昨年の暮れに、「この冬は温暖化による大雪が予想される」とテレビニュースが報道しておりました。温暖化で海水が多く蒸発するため、それが大量の雪となって降ることになるといいます。

その予想がしっかりと当たってしまったということでしょう。

考えてみますと、私の普段の生活はまさに温暖化の原因を作り続ける生活です。先々が歩き、先代が自転車で行った距離を私は家用車で移動しています。ストーブを焚きコタツにもぐって、それでも寒いと文句を言いながらアイスクリームを食べています。

私が原因を作った温暖化がこの大雪を引き起こし、私の家内の叔父をはじめとする多くの命を奪ったのかと思うと、申し訳ない思いでいっぱいになります。

《江林》